

80109その他の卸売業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	7~8	冷凍庫内にて在庫確認等の作業中に、胸が苦しくなったため、その場で携帯電話から救急車を呼びながら冷凍庫外へ出たところ、立ってられなくなり座り込んだ。そこへ第一発見者が来たので、携帯電話を渡して手配を依頼し、救急車で搬送された。	57	11	715	10~ 29
2	2017	12	15~16	第1倉庫で角パイプを切断中、15分の休憩後、再び作業を開始した。その際、機械の始動ボタンを押し、機械の駆動部分を覗き込んだところ、バイスと機械本体に挟まれて負傷した。	67	7	159	30~ 49
3	2017	12	9~10	車両トラックを敷地内で走行し、緩い傾斜地に本人の不注意でサイドブレーキを引かずに下車した。トラックはそのまま前方の道路に止まっていた車に向かって下り、気づいた本人がトラックの前に回ってトラックを押さえようとしたが、そのままトラックと前方の車に挟まれた。その際に腰と膝を打撲し、膀胱辺りの動脈が切れて内出血が生じた。	33	7	221	1~9
4	2017	12	4~5	出勤時、駐輪場において自転車から下車する際に、左足を地面に着いたところ、路面が凍結していたため足が滑り、左側に転倒した。	27	2	417	500 ~ 999
5	2017	12	15~16	社内1階の掃除のため、2階和室から掃除機を運ぶ途中、階段で足を踏みはずし、体全体（特にお尻）を強打した。	38	1	413	1~9
6	2017	12	8~9	現場にて、チェーンで固定したアオリ上に立ち、シートの端を持ってバタバタと雪を払っていたところアオリ上面が濡れてい	53	1	221	10~ 29

				たため、滑って地面に落下した。				
7	2017	12	11~12	当社内の冷蔵庫の上のタイルを清掃中、脚立より転倒し、両手を負傷した。	39	1	371	1~9
8	2017	12	12~13	工場冷蔵庫内で、コンテナの中身を確認する際、いつもは上段のコンテナを降ろし作業しているが、今回は玉ねぎのに入った5段積コンテナの5段目を左手で持ち上げ、5・4段の間から右手で玉ねぎの大きさを探っていたところ、左手が滑り、コンテナが落下し、右手首が挟まり受傷した。	69	4	611	30~ 49
9	2017	11	15~16	会社敷地内で物流出荷作業中に商品を出荷する為に、荷物の準備作業中に箱を積み重ね中に5段目の荷物を上げる時に、積み上げが不十分だった為に荷物が落下して顔面に当たり右目を負傷した。	28	4	611	30~ 49
10	2017	11	15~16	入店先でDMを所定の位置に戻す際、カウンター横の地下室、約2.3mに転落し、右首筋から後ろ、右肘、腰、左足肘を打撲した。	53	1	418	300 ~ 499
11	2017	11	11~12	被災労働者は、鶏卵が入った10kgダンボール箱を、営業車両の荷台からカゴ車へ移す作業を行っていた。ダンボール箱を2箱ずつ（計20kg）運んでおり、箱を持ちカゴ車へ降ろす際に作業体勢が中腰であったこともあり腰に激痛がはしった。	38	19	611	1~9
12	2017	11	17~18	3階倉庫よりダンボールケース3箱を持って階段を下りようとした時に、足を踏み外し5段目くらいにお尻から落ち背骨を圧迫骨折した。	40	1	413	100 ~ 299
13	2017	11	10~11	会社（店舗内）で街展用のミシンを片付けようと車から運搬して所定の場所に戻す作業をしている時に、腰が立たなくなり激痛が走った。	50	19	611	1~9
14	2017	11	9~	同店内倉庫にて、商品配達準備作業中、配送用トラックに商品（瓶ビールケース）を積み込んでいた時、誤って足を踏み外し	46	4	529	10~

			10	荷台から地面に落下し、その際に手に持っていたビール瓶が割れ、右手首を切創し受傷したものである。				29
15	2017	11	12～ 13	電動丸鋸で木材を切っていたところ釘が節に当たって、鋸が手前側に跳ねてしまった時に手袋を巻き込んでしまい、スイッチを切るのが間に合わず、左手親指を切ってしまった。	35	17	231	50～ 99
16	2017	11	17～ 18	店舗にてドラム洗濯機を動かした時に中腰の状態を持ち上げ腰を痛めた。	28	19	921	30～ 49
17	2017	10	8～9	自社包装センター内箱詰作業場において、箱詰作業の開始準備中包装のPPバンドの落下物とコンセントケーブルに足をひっかけ転倒。その際、前方に設置してあるコンベア支柱の角に顎を打ち付け受傷したものである。	54	2	417	30～ 49
18	2017	10	10～ 11	当社敷地内における上記派遣労働者の、商品のトラックへの積み込み作業中の被災。トラックの荷台で、商品（人参が満載された段ボールで、重さ約10kg）をトラックに積み込んでいた際、高く積んだ商品（荷台床からの高さが約130cm程）が安定が少し悪かったために倒れてきて左足首のくるぶしの辺りに商品が直撃し、その衝撃で骨折したものの。	45	4	611	30～ 49
19	2017	10	17～ 18	勤務事業所内で車両から折りたたみ式コンテナ等を建屋の所定保管場所に片付ける作業を行っていた。荷物を持って駐車場から建屋に上るため、階段を上ろうとしたところ、左足爪先を段差に引っ掛けて転倒、左手を先に作業場所のフロアにつき、右ひざを強打、左ひざも打ち負傷した。左手首回り骨折、右ひざ打撲靭帯損傷、左ひざ打撲。	47	2	413	30～ 49
20	2017	10	11～ 12	工場内に於いて、アルミサッシ枠の荷降ろし作業中、4tトラックの荷台で、同僚が運転するフォークリフトにアルミサッシ枠を載せていた時、アルミサッシ枠を載せ終わったと勘違いした同僚が、フォークリフトをバックさせた。荷台上に残っていたアルミサッシ枠を持ったままフォークリフトを追って荷台上を	37	1	221	10～ 29

				移動した際、足元を確認していなかったため、荷台から転落し右肘関節を捻挫、右手、右前腕を打撲負傷する。				
21	2017	10	12～ 13	会社構内でトラックのコンテナ内後部から、空おり下ろしの作業中、同後部から降りようとしてトラックのステップに左足をかけた際、ステップが雨で濡れていたため、その足を滑らせ、左肩から落ち、左肩と左側頭部を強打した。	62	1	221	50～ 99
22	2017	10	1～2	2段ベットの upper で、仮眠中、寝返りをしたところ、ベットの落下防止柵が無い側から（ベット190cm壁70cm）、頭から落下した。	67	1	391	100 ～ 299
23	2017	10	14～ 15	冷蔵庫売場で他社の派遣社員と展示品の入替作業中（2名で）冷蔵庫を台車に載せたところ、台車の中心からずれていた為、冷蔵庫の位置を直す際、左手に痛みを感じ、その後腕が上がりなくなった。	69	19	612	10～ 29
24	2017	10	17～ 18	工場内にて卵がパック詰めされた包装容器をさらにシュリンク包装する作業中、そのライン上で商品の自動移動が止まり、取り除こうと手を入れてしまったところ、センサーが反応し、ヒーターが下りてしまい右手首を火傷した。	34	11	169	30～ 49
25	2017	10	11～ 12	当社顧客の倉庫前で、当車の回収車（パッカー車）後方で、リフトに一度停車してもらいダンボールを2,3束パッカー車に積み込んでいたところ、急にリフトが前進してきたので、ストップと呼びかけたが止まりきれず、パッカーとリフトの間に挟まれた。	43	7	222	10～ 29
26	2017	9	6～7	当社の工場内にて豚肉を包丁で切る作業中、誤って左手第一指と第二指の間を切って負傷した。	53	8	364	50～ 99
				倉庫の空きスペース活魚搬送トラック（積載7.3トン）を止め、水槽内の海水を抜き、水槽の上で作業をしていたところ、2槽目と3槽目の間運転手側のところで体のバランスを崩し、約2メートル下のコンクリートの床面に足より落下して、				

27	2017	9	9～ 10	左の踵を強打した。トラックの水槽の上部面での作業の安全のため滑り止めマットをほどこしていたが、コンクリートの床面とマット面の距離が2メートル程度のために高所作業とも思われなかったために、墜落防止対策を行っていなかった。しかし、当該作業は日常的作業のために今まで事故もなかったために、安全作業に対する意識が薄れていたと思われる。	46	1	221	50～ 99
28	2017	9	15～ 16	弊社の倉庫で、切断完了した鋼材の束を出荷の為、一カ所にまとめていた鋼材の束に玉掛けを行い、クレーンで切断機より置場に移動した後、ワイヤーロープを回収する為に、片方のヘビ口をはずし、もう片方をクレーンで巻き上げて引き抜こうとしたが、下ろした時にワイヤーロープが盤木（まくら）と鋼材にはさまっているのに気がつかないままクレーンを巻き上げ続けた結果、束が被災者の方へ落下した。	49	5	611	1～9
29	2017	9	11～ 12	派遣社員である被災者が冷蔵庫売場にて、冷蔵庫を所定の場所へ移動・展示作業中、冷蔵庫を屈んで持ち上げた際、曲げていた腰に負担がかかり腰痛となった。	56	19	921	300 ～ 499
30	2017	9	16～ 17	当社、工場内でコンバインの整備中の災害。被災者はコンバインの稲の穂を切り刻む回転刃の交換作業の際、棒状の回転刃を本体へ組み付けするため、回転刃を本体へ設置し、ロックナットを手で仮止めしようとした時、回転刃が本体よりずれて傾いたため、回転刃付近にあった左手に接触し、作業用グローブを着用していたものの、左手甲（親指側）を負傷した。当日は出血はあったのだが、大丈夫と思い病院へはいかなかったが、翌日、左手親指の動きが悪かったため受診した。	29	8	169	1～9
31	2017	9	13～ 14	冷凍セット場商品補充庫より商品ラック載せ完了後に出る空きカゴ車2台と積み付けより中に移動させていたところ、カゴ車のバランスが崩れカゴ車と一緒に転倒、転倒の際に右手を離すのが遅れひねってしまった。転倒後、痛みがそこまでなかつ	47	2	417	100 ～ 299

				た為、通常業務を終え帰宅。				
32	2017	9	11～ 12	当社工場内でタイヤ処理のため、切断機へのタイヤのセッティング及び取り出し作業中、タイヤのビートワイヤーの一部が左手の人差し指と親指の間に刺さり、ワイヤーを抜いた傷口が腫れた。	77	8	521	1～9
33	2017	9	15～ 16	仕分け作業中、近くにいた社員に話をする為に移動する際、そばにあった商品を載せていたパレットの下にあるキャリーが少し出ていた為に左足をひっかけて転倒し、ヒザを強打した。	54	2	362	500 ～ 999
34	2017	9	11～ 12	豚肉を2人で持った際、持ち手の角度が悪く手首の捻挫した。 (ひねったのではなく、持ち上げたときに持ち方が悪かったためためた)	47	19	611	10～ 29
35	2017	8	6～7	活魚槽の生簀（高さ140cm）のふちに登って活魚をすくい上げるときに、足元が濡れており、バランスを崩した際に転落した。その際、隣に設置されている高さ40cmの生簀のふちに胸部を打ち、コンクリート床に落下した。	63	1	713	50～ 99
36	2017	8	15～ 16	1階倉庫出荷ホームにて、商品をパレットに積み替え作業中、パレットに足を掛けたところ、パレットに足が掛からず、踏み出した足を挫いて転倒した。	39	2	379	100 ～ 299
37	2017	8	9～ 10	事業場の駐車場で、フォークリフトの修理のため、トラックにフォークリフトを積み込んだあと、フォークリフトの座席から降りるとき、誤ってトラックの荷台から下へ落ちた。	64	1	222	10～ 29
38	2017	8	15～ 16	特殊鋼センター倉庫内にて作業中、立体自動倉庫に保管されている鋼材が、1つのカセットに対して過積載になっていることを発見した。現物確認するために自力で登り、その後、カセットが持ち上がる事を確認して下りる途中、本来は梯子を使って下りるところを、飛び下りて着地し、骨折した。	22	3	414	30～ 49
				プレス場でトラックの荷物を降ろし終わったとき、トラックの				

39	2017	8	16~ 17	アオリを上げようとした際に指をアオリの鉄と鉄の間に入れ、上げようとしたときにアオリのロックがかかっておらず、そのまま指を挟んでしまった。	38	7	221	10~ 29
40	2017	8	10~ 11	品物の搬入が終わり帰る途中、積んでいた品物（配水管）が不安定だったので、脇道道路に車を止めて品物の整理しようと、トラックの荷台に乗って整理していたところ、荷台に穴があいたと同時に左足が落ちてしまい負傷した。	50	9	221	10~ 29
41	2017	8	16~ 17	営業から戻って、会社工場内にトラックを運び入れ終わり、運転席から降りて着地した際、右足を捻り負傷した。	27	2	221	1~9
42	2017	8	22~ 23	上記日時、営業先店舗での棚卸し業務の為、機材の準備中、床に置いたプリンター（重さ約4kg）を中腰の体勢で持ち上げたところ腰に痛みが走った。	31	19	921	10~ 29
43	2017	7	10~11	配送業務中、ウィンカーを点けて左折待機していたところを追突された。	49	17	231	30~ 49
44	2017	7	14~15	取引先のケーキ屋の厨房内において、店舗移転の手伝いを行っていた際、旧店舗から移設された食器洗浄機を確認していたところ、何らかの原因で感電したらしく、負傷した。1人で作業していたので災害発生を目撃した者はおらずケーキ屋のオーナーが食器洗浄機の側で被災労働者が倒れていたところを発見した。	30	13	169	30~ 49
45	2017	7	15~16	石垣の横で石垣の前の片付けをしている時、石垣の上の石が落ちてきて、片付け中の石と上から落ちてきた石に挟まれた。	54	6	529	1000 ~ 9999
46	2017	7	9~10	当社工場内で作業中にCプレス（40cmの真四角、厚み10cm重さ10~15kg）が5~6個倒れて来たため支えようとして、支えきれずCプレスの端で左手を5針縫うケガをした。	47	5	612	50~ 99
				当事業所に於いて、金属部品の入った箱をフォークリフト（有				

47	2017	7	11~12	資格者)にて移動中、フォークリフトがオーバーヒートして止まってしまったが、次の作業でも使用したかったので、早く直そうと思いラジエーターのキャップをはずしたところ、熱湯が吹き上がり右腕の手首から肘下あたりにその熱湯がかかり(長袖を着て皮手袋をしていたが腕まくりしていたため皮膚に直接熱湯がかかった。)負傷してしまった。治療を受けた。	23	11	715	10~ 29
48	2017	7	11~12	現場納品終了後、営業所に帰っている途中、交差点で信号待ちをしていたところ、自分が運転している営業車のトラックの後ろに乗用車が追突した。その衝撃で首がむち打ちになり、腰も痛めてしまった。	23	17	231	1~9
49	2017	7	15~16	事業場のレジにて、お客様対応時に、レジ下に設置されていた引き出しに右大腿部を強打。レジ業務中、引き出しが出ている状況だった箇所が強打した。	24	3	911	—
50	2017	7	8~9	売場にて作業中、別の仕事で事務所に急いで戻ろうと移動する時に、パレット上に陳列してある商品を飛び越えて着地した際に、右足をひねり転倒した。	44	2	417	30~ 49
51	2017	7	14~15	弊社、第2倉庫内で、フォークリフトで2段(1m60cm)の重量棚の上へ登り、保管していた未使用の段ボール函を運び出す作業を行っていた時、後ろ向きで荷を引っ張ってリフトに戻ろうとした時に、足を踏み外し、棚上から転落、地面のコンクリートに後頭部を強打した。	42	1	391	30~ 49
52	2017	6	14~ 15	パレットの上で返品作業中、後方を確認せずそのままパレットから降りた際、後方から来たリフトと接触し、足の小指を痛めてしまった。	62	6	222	10~ 29
53	2017	6	13~ 14	会社の玄関を歩行中、段差に躓いて転倒し、左大腿骨頸部外側を骨折した。	72	2	417	100 ~ 299
				卸売市場内1階果実低温売場内において、当社従業員がハンド				

54	2017	6	5~6	リフトを後方へ引き出している際、従業員のバック運転中のフォークリフト左後方部分と出合頭に衝突し、被災者は右足の腓骨骨折等を負った。	61	6	222	50~ 99
55	2017	6	15~ 16	倉庫内で商品を載せた台車（ロールボックス）を移動させていたところ、別の作業者が移動させていた台車（ロールボックス）とぶつかり、左手の小指・薬指・中指・人差し指が挟まれて負傷した。	20	3	362	10~ 29
56	2017	6	16~ 17	当社構内において、古紙をトラックに積み込み作業中、積み込んだ古紙にラベルが貼り付いていたため剥がそうと、古紙と左側面に立ててあるバタ板の間に体を入れ進もうとした際、バタ板がロックされておらず倒れてしまい、その拍子にバランスを崩し、トラック荷台から地面に落下し、左肘を地面に打ちつけ負傷した。	34	1	221	10~ 29
57	2017	6	11~ 12	社内職場にて、キャスター付の台座の上に重ねて保管している空の容器を取ろうとした際に、積んでいた空き容器のバランスが崩れ、左足の上に落下し、負傷したものである。	57	4	611	100 ~ 299
58	2017	6	11~ 12	業務の一環として当番で社員食堂の準備をしていた際、ミソ汁が入った密封容器のふたを閉めたまま加熱してしまい、沸騰していることに気がつき、ふたを開けようとして煮えたぎったミソ汁があふれ出し、両足にかかってしまった。	37	11	379	300 ~ 499
59	2017	5	10~ 11	製品の荷降ろし中に、前方安全確認不足により、荷受ローラーに躓き転倒し、荷受ローラーのふちの部分に頭部を強打した。	32	2	416	50~ 99
60	2017	5	9~ 10	サイクルスポーツの大会に得意先の主催で参加し、コース周囲中に転倒し、左肩鎖関節脱臼、左恥骨骨折、顔面・両手の平・左足膝当の擦過傷を負った。	53	2	362	50~ 99
61	2017	5	14~ 15	職場である店内にて移動中、入口付近にて左に曲がる際に床で滑り、顔の左側と左肘を床に打ちつけた。	64	2	416	30~ 49

62	2017	5	22～ 23	当社取引先店舗駐車場にて、納品のために商品を台車に積んで店舗駐車場内を移動中に、一般客車両が後方確認をせずに後進して来たので避けようとしたところ、バランスを崩して転倒し左足を負傷した。相手車両と接触はなく、当該車両はそのまま走り去ったため住所・氏名等の詳細は不明である。	54	2	231	100 ～ 299
63	2017	5	16～ 17	被災者は出張で会議に出席した後、新幹線を利用して戻るため移動していた。新幹線ホームを移動して、到着を待つ列に並んだところ、一瞬ふらついた際に柵の間から線路上へ転落し被災した。	48	1	418	100 ～ 299
64	2017	5	10～ 11	客先で、フォークリフトの荷降ろし作業の手伝いをしていた時に本来爪カバーを降ろす場所に不注意で足を置いてしまい爪カバーが落下し怪我をした。	47	7	222	10～ 29
65	2017	4	12～ 13	トラックから降りようとして足をふみはずし、両足のかかとを地面に強打した。	63	3	417	50～ 99
66	2017	4	15～ 16	倉庫敷地内で、ユニットハウス積み建て2F部のズレの修正を3人で作業中、1人はレバーでテンションを効かせながら、1人は自分が乗った脚立を支え、自分は脚立に昇り高さ1.0～1.5mの高さからバールで修正作業を行っていたところ、バランスを崩して落下し左足踵を骨折した。	47	1	371	1～9
67	2017	4	11～ 12	3階庫内ピッキング出庫作業にて保管棚で補充作業中に、荷物を台車に載せようとした際、台車の荷物の上に荷物を重ねて置いた時、重い荷物であったため、腰に負荷がかかり痛めた。その後、腰に痛みはあったが無理を続け、痛みがひどくなった。	50	19	921	500 ～ 999
68	2017	4	17～ 18	自社工場内の階段をゴム板を持って下りる際、段を踏み外して落下し（約1.5m）、足をついたが衝撃で骨折した。ゴム板で足元が確認しきれなかったのが原因と思われる。	28	1	413	10～ 29
			10～	営業での外回り中、乗り換えようと構内を移動中に転倒し骨折				

69	2017	4	11	した。	63	2	921	1～9
70	2017	4	8～9	得意先へ商品を納品時、同駐車場にて荷降ろし作業中、誤ってトラックの荷台から落下し、頭部を負傷した。	59	1	221	10～ 29
71	2017	4	15～ 16	自社倉庫内で荷くずれした肥料の片付け作業中、停止したフォークリフトに積載した肥料が荷くずれをして、被災者に肥料が落下してしまった。肥料を巻いていたラップの強度が不足していて、これに気付いて他の社員3名とともに肥料を押さえていたが被災者が下敷きになった。	18	5	611	10～ 29
72	2017	3	10～11	リフトから降りた時、着地した所が斜めだったため、足首を捻って負傷した。	62	3	222	1～9
73	2017	3	9～10	当工場内の再生資源物のプレス機の周りの掃除を終え、支柱と扉の間に手を掛けて、プレス機の台座に戻ろうとした時に、丁度、圧縮物によって使う攪拌機を出し入れする扉が開き扉はレールに沿って開閉されるが、開くと扉と支柱には隙間が殆どないため、扉と支柱に挟まれて、左手の親指を除く4指を複雑骨折した。	67	7	159	10～ 29
74	2017	3	7～8	荷受場でトラックからプラットホームに荷卸し作業をしているときに、トラック荷台とプラットホームに段差があるためスロープを使ってカゴ車を降す作業をしていたところ、カゴ車が倒れ作業者の顔に当たり、鼻骨を骨折した。	40	6	611	10～ 29
75	2017	3	14～15	事業場付近の塵芥処理室（ごみ拾場）でごみを捨てようとしたとき躓いて転倒し、左手親指の付け根あたりを剥離骨折した。	48	2	921	10～ 29
76	2017	3	11～12	館内からエレベーターにて3階に運ばれて来て、置いてあった布団を移動する際に、誤ってそばにあった台車に足を乗せてしまい転倒した。	60	2	417	30～ 49
77	2017	3	6～7	配送センターで荷物を積み込むとき荷台から転落し、顔・手・腰を強打した。	65	1	221	10～ 29

78	2017	3	10~11	駅前第2駐車場内において、自家用車よりPOPを持ち店に向かうとした際に車止めに躓き転倒し、右手小指側面と右肋骨部を強打し、顎を擦り?いた。	65	2	419	10~29
79	2017	3	8~9	1階東側車路にて、コンテナ台車を設置するため、台車を引いて移動していたところ、誤って右足が台車に巻き込まれ、アキレス腱を負傷した。	35	7	362	100~299
80	2017	3	14~15	家庭紙選別場にて、男性作業員Aが1箱20~30の選別品が入った書類箱5段積40箱のパレットをフォークリフトにて移動中、リフトの片輪が選別品に乗り上げてしまい荷物が崩れ、近くで選別作業をしていた作業員に大声で知らせたが、逃げ切れず右足に荷物がのしかかった。	55	4	611	10~29
81	2017	3	10~11	当事業所内の作業場において、肉の入った袋を包丁で切ろうとしたところ手元が狂い、左示指を負傷した。	39	8	364	10~29
82	2017	2	17~18	被災者は自社所有のトラック積載型クレーン車を一人で運転しパイプを客先に納品した。指定された資材置き場にてクレーンを使用して積み下ろし作業及び玉外し作業を終了後、製品置き場の棚（高さ約1m程度）から降りる際に身体のバランスを崩し左足から着地してしまった。	55	3	416	10~29
83	2017	2	16~17	本社検収場残糸取エリアにて、残糸巻取機で糸管に付着している残糸を巻取機械にかけて、処理している時、巻取機から外れた糸管を拾おうとした折に、巻取り部分から地面に垂れた糸が左手人差し指に絡み、そのまま身体ごと巻取機芯棒部分に巻き上がった。その際に機械の縦柱に右足脛下部が接触し裂傷を負った。	67	7	169	1~9
84	2017	2	19~20	走行車線を約90km/hで走行中、前方に40~50km/hで無灯火のトラックが有るのに気付き、急ブレーキを掛けたが右にハンドルを切った。ハンドルが操作性を失い、右ガードレールに接触しそうになったので、左にハンドルを切った。左ガード	56	17	231	10~29

				レールに衝突しながら、停止した。				
85	2017	2	10~11	100枚包装されたチラシをひっくり返す時にチラシが右手薬指に落ちて、靭帯損傷し指が変形し手術が必要になった。	69	4	611	—
86	2017	2	14~15	商品ピッキング最中、商品を手に持った状態で足元の台車を跨いだ際、机の脚に自分の足が引っかかり、倒れてしまった。その際、左足をひねり骨折してしまった。	50	2	417	30~ 49
87	2017	2	10~11	協力会社の倉庫内にてカゴ台車移動時に別の列のカゴ台車が転倒し避けきれずに足首が下敷きとなり骨折する。	23	6	362	—
88	2017	2	17~18	業務終了後、タイムレコーダーを打刻して会社裏の従業員駐車場にて、連日の大雪の為、自分の車を置いた後部が凍っている状態になっていた。注意したにもかかわらず転倒して右手首を骨折した。	55	2	719	30~ 49
89	2017	2	8~9	中央卸売市場内、外駐車場で当社トラック1.5t箱車の荷台の屋根の雪落としをしていた際、雪に足をとられ屋根から転落した。	73	1	221	10~ 29
90	2017	1	11~12	店内にて、商品やサンプル等が入ったオリコン梱（1梱につき重さ約15kg~20kg、3段重ね）をお客様との対応のたびに上げ下ろしを4回行ったあと、腰の右側に大きな痛みを感じた。当日は最後まで仕事を続けたが、腰の痛みが増し、第12胸椎圧迫骨折であると分かった。	61	19	611	—
91	2017	1	10~11	配達業務中、信号交差点において、青信号となり動き出した時に、後から猛スピードで来た車に追突された。	24	17	231	50~ 99
92	2017	1	9~10	カタログ制作撮影現場に、撮影補助として行った際、撮影現場の駐車場で滑って転倒した為、膝蓋骨骨折した。	57	2	417	—
93	2017	1	21~22	棚に設置されている手搬送商品の補充中、奥にある商品が届きにくかった為、階段の2段目に上って整理していた所、バランスを崩して階段の2段目から落下してしまい、右足首を捻挫し	47	1	413	500 ~ 999

				た。				
94	2017	1	8～9	労働者は敷地内において、廃プラスチック等の回収作業に従事していた。廃プラスチックを両手で保持し、運搬車に乗せようとしたところ、踏み出した左足の薬指を骨折した。	35	19	416	50～ 99
95	2017	1	13～ 14	商品回収中、商品をパッカー車に投入している際、左手を挟まれて、指を骨折した。	32	7	229	10～ 29
96	2017	1	10～ 11	生コン搬入の為、事業所から搬入先の現場にミキサー車で向かい、搬入先現場の隣地住宅に車両を停めて運転席から降りた際に、隣地住宅の玄関の段差に足をつまずき転倒し、右ひざ関節を負傷した。	55	2	418	10～ 29
97	2017	1	16～ 17	当社構内荷受け場に於いて、お客様の車を誘導中、バックしてきた同僚の運転するフォークリフトと衝突して転倒し、左足首を右後輪に踏まれ、圧挫傷した。	28	7	222	—
98	2017	1	17～ 18	スリムカートに荷物を満載にした状態で手前に引いたところ、予想以上に勢いよく動き、右足の甲の上に車輪が乗っかり負傷した。帰宅後に湿布を貼り様子を見ていたが、徐々に腫れ上がり、足も赤色から青色に変わり痛みが増した。	37	7	362	100 ～ 299
99	2017	1	9～ 10	第二卸売場で荷受作業中、年配の生産者のためにパレットを取ろうとして持ち上げた際、手を滑らせてパレットを右足に落としてしまい、右第1・2趾末節骨を骨折した。	21	4	379	300 ～ 499
100	2017	1	9～ 10	国道を業務のため走行中、緩やかな左カーブで路面がアイスバーンのためハンドルを取られ、スリップして左側歩道に乗り上げ、走行車線に戻ろうとしたがスリップし、対向車線へと飛び出してしまい、対向車に正面衝突したものである。	72	17	231	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。

